

伊勢原市【神奈川県】 歴史文化基本構想を活用した 観光拠点づくり事業



■協議会メンバー…
伊勢原市／大山阿夫利神社／大
山寺／宝城坊／比々多神社／大
山観光振興会／比々多観光振興
会／たかへや緑の里振興会／伊
勢原市文化財保護審議会／伊勢
原市文化遺産活用実行委員会

■構想策定年度…
平成二十八年一月…
■補助事業期間…
平成二十九年九月一日
平成三十年三月三十一日

歴史文化基本構想の概要

伊勢原市は丹沢の霊峰である大山の麓に広がり、豊かな自然と長い歴史、多彩な文化財を有する。古代からの大山への信仰が江戸時代に花開き、現在へと引き継がれる「大山詣り」をはじめとする地域共有の財産を、後世へ確実に継承していくことを目指す。さらに、市民団体等との協働、関係諸機関との連携により、歴史・文化遺産を地域の活性化やまちづくりにも活用していく。

観光拠点形成の方向性

- ・豊かな自然環境と歴史・文化遺産を重要な観光コンテンツと位置づける
- ・歴史文化基本構想に沿い、文化財の活用によりその保存・継承を図る

観光に関する課題

- ・文化財の集中エリアを周遊することにより、観光客の滞在時間を伸ばす
- ・文化財の活用と継承のために、広くその価値の共有化を図る必要がある

事業概要

周遊を促す文化財案内看板等の整備

地域の文化財を巡るための案内サインを補完し、地域を越えた周遊を図るための案内看板を設置した。大山や日向といった地区ごとのテーマカラーを定め、周遊パンフレットとも連携した統一的なデザインとした。

KPI 伊勢原市への入込観光客数:
約1,900,000人(H28)→約2,300,000人(H31)

情報
発信



海外への情報発信、ホームページの英語化

市域の文化財を、海外へも情報発信していくため、市のホームページである「いせはら文化財サイト」内の外国人にとって難解な歴史的用語や補足説明が必要な文化財解説の英訳を行った。

KPI 文化財ホームページの閲覧数:
35,000件(H28) →41,000件(H31)

情報
発信



文化財を支える地域力、人材育成と活動の支援

地域の文化財を地域の力で護っていくため、ボランティア養成講座を開講、卒業生を歴史解説アドバイザーとして認定した。認定者は、調査、ガイド、看板づくり等、文化財に関わる自主的な活動を続け、市も取組みを支援した。

KPI 文化財ボランティアの認定者数:
97人(H28) →110人(H31)

人材
育成



地域の魅力を再認識、モニターツアーの実施

魅力ある文化財を有効活用していくため、シニアのウォーキング団体や旅行会社社員、ファミリー層の宝探しイベント会員を対象にツアーを実施し、幅広い世代から聴取した意見をセミナーで地元住民、事業者等と共有した。

KPI 文化財を活用したツアー等の件数:
0件(H28) →5件(H31)

普及
啓発



成果

① 知名度の向上と周遊環境の整備

豊富な文化財がありながら、知名度の向上が課題となっていた日向地区について、文化財による地域のPRを図り、また、統一的な案内看板や方向サインにより地域内外を周遊しやすい環境が整備された。

② 地域の理解と結束力の強化

地域団体との協働事業により、地域の文化財の価値と意義の認識、それらを擁する地域の魅力についての理解が深化した。さらに、その活用の際する連携の土壌が培われ、協力体制が強化された。